

メールフィルタリング

・メールフィルタリング設定 目次

1 メールフィルタリング設定 P.3

1-1 メールフィルタリング設定

1-2 検知アドレス設定

1-3 許可アドレス設定

2 SSL利用設定 P.6

2-1 証明書のダウンロード

2-2 証明書の適用

**※SSL通信の動作を保証しているのはOutlookのみです。
メールの受信をSSLで行っている場合、
MRB証明書のインポート作業が必要となります。**

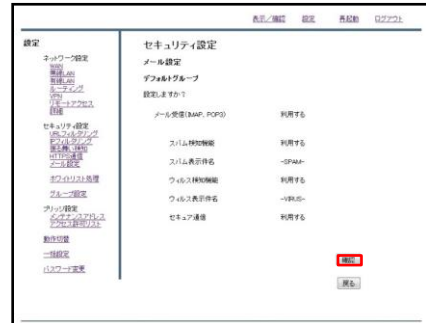
**なお、MRB証明書インポート手順については
『HTTPSフィルタリング設定』の手順書をご確認ください。**

1-1, メールフィルタリング設定

MRBを経由するメールをチェックするための設定を行います。



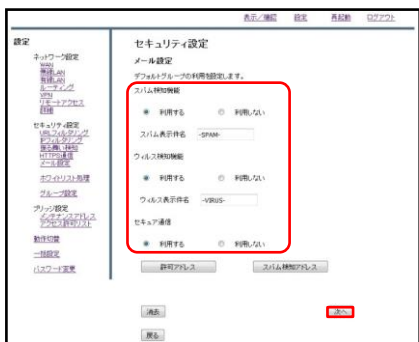
①管理画面にログイン後、右上の『設定』をクリックし、左側の『メール設定』をクリックします。



④設定内容を確認し、正しければ『確認』をクリックして設定は完了です。



②メール受信のラジオボタンより『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。



③スパム検知、ウイルス検知を利用する場合はそれぞれのラジオボタンより『利用する』を選択し、**メールの受信をSSLで行っている場合はセキュア通信のラジオボタンより『利用する』**を選択して『次へ』をクリックします。

※スパム検知は送信元アドレス、ウイルス検知は添付ファイルをそれぞれチェックします。

1-2, 検知アドレス設定

スパムメールとして判定させたいメールアドレスを検知アドレスに設定します



①管理画面にログイン後、右上の『設定』をクリックし、左側の『メール設定』をクリックします。



④『追加』をクリックします。



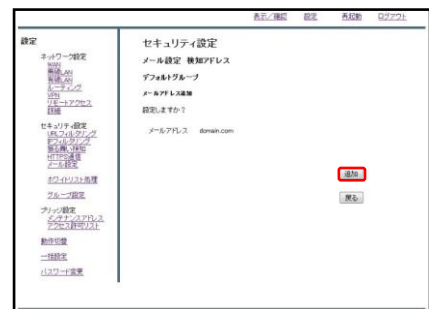
②メール受信のラジオボタンより『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。



⑤メールアドレス記入欄にスパムとして検知させたいメールアドレスを記入し、『追加』をクリックします。



③『スパム検知アドレス』をクリックします。



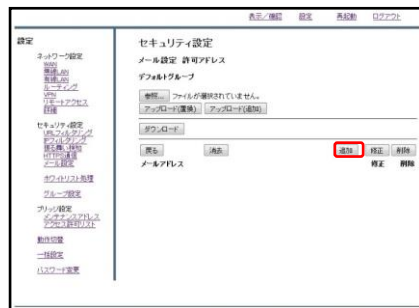
⑥入力したメールアドレスを確認し、正しければ『追加』をクリックします。

1-3, 許可アドレス設定

スパムメールとして判定させたくないアドレスを許可アドレスを設定します



①管理画面にログイン後、右上の『設定』をクリックし、左側の『メール設定』をクリックします。



④『追加』をクリックします。



②メール受信のラジオボタンより『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。



⑤メールアドレス記入欄にスパム判定から除外するメールアドレスを入力し、『追加』をクリックします。



③『許可アドレス』をクリックします。



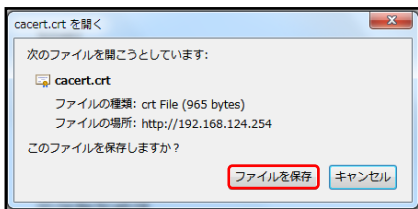
⑥入力したメールアドレスを確認し、正しければ『追加』をクリックして設定は完了です。

2-1, 証明書のダウンロード

SSLで受信したメールをチェックする際の
証明書をダウンロードします



①管理画面にログイン後、左側『情報』をクリックし、『証明書ダウンロード』をクリックします。



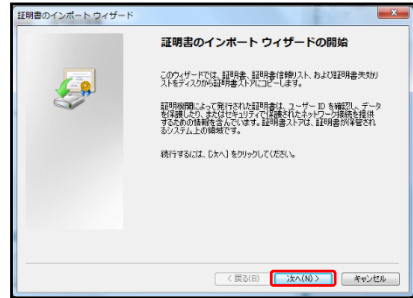
②ダイアログが表示されましたら、『ファイルを保存』をクリックし、証明書のダウンロードは完了です。

2-2, 証明書の適用

SSLで受信したメールをチェックする際、MRBの証明書をインポートします



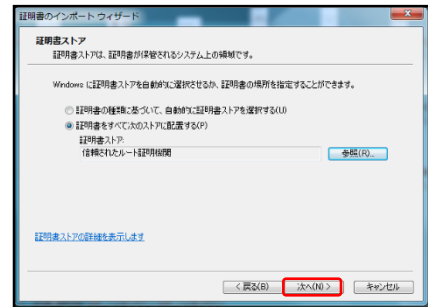
①ダウンロードした証明書をダブルクリックします。



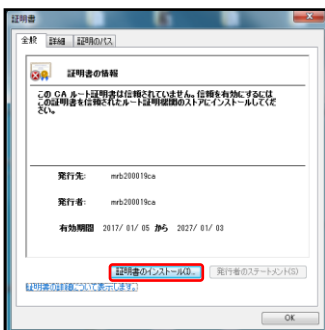
④ダイアログが表示されますので、『次へ』をクリックします。



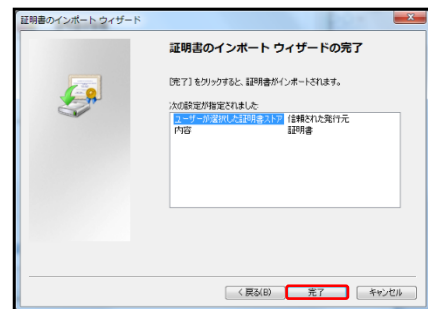
②ダイアログが表示されますので、『開く』をクリックします。



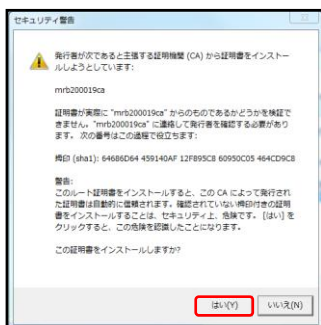
⑤ラジオボタンより『証明書をすべて次のストアに配置する』を選択し、『参照』より「信頼されたルート証明機関」を選択して『次へ』をクリックします。



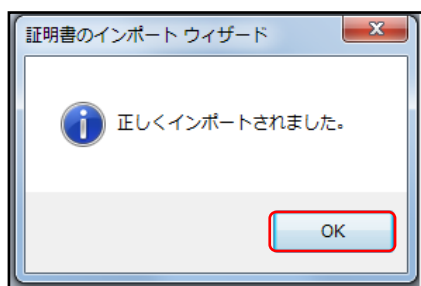
③『証明書のインストール』をクリックします。



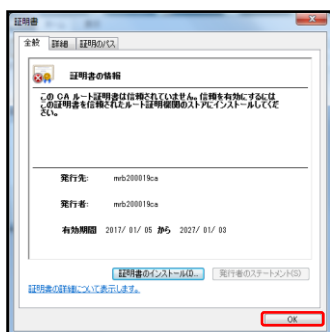
⑥内容を確認し、正しければ『完了』をクリックします。



⑦警告が表示されますが、『はい』をクリックします。



⑧ポップアップが表示されましたら『OK』をクリックします。



⑨『OK』をクリックして証明書のインポート作業は完了です。